

# 研究科の活動



## 学際的研究推進部会（5つの教員グループ）の紹介

田原 栄俊

医歯薬保健学研究科 副研究科長（研究担当）

医歯薬学専攻 薬学講座 細胞分子生物学 教授

医歯薬保健学研究科では、平成24年から5年間にわたり、基礎生命科学、応用生命科学、統合健康科学の3部門を置き、共同研究、留学支援、Inter-Professional Education (IPE) の推進を目的に、公開セミナー、留学生による研究発表会、IPE 合同講義の実践を行ない、大きな成果を上げてきました。また、グローバル化の中で、国際的教育、国際協働も推進されつつあります。

これらの背景や各分野からの意見を踏まえ、本研究科における新たな活動組織として平成29年8月に「学際的研究推進部会 (Interdisciplinary Research Section)」を設置しました。学際的研究推進部会は、5つのグループ（①がん・ゲノム医療グループ、②脳・神経科学グループ、③再生・免疫・感染・アレルギーグループ、④老化・高齢者医療・生活習慣病・社会医学グループ、⑤発生・発達・成長期医療グループ）から構成され、新たな研究展開と社会実装を推進する研究活動の基盤整備を担い、学際的研究の推進、協業的研究への発展を目指しています。研究科の基幹講座、協力講座（原爆放射線医科学研究所、病院、自然科学研究支援開発センター）、寄附講座および共同研究講座の教員が対象であり、教授はいずれかのグループに属するものとされており、各研究室の研究紹介、産学連携セミナー、若手研究者のポスター発表会を実施するなど、それぞれのグループごとに活動内容はさまざまですが、それぞれの専門分野からの有益な情報を共有できる有意義な場となっています。なお、1年に数回は横断的な情報共有のため、5グループ合同会議を開催することになっており、本年8月には原爆放射線医科学研究所と合同企画として、大阪大学大学院生命機能研究科 特任教授・理化学研究所放射光科学研究センター副センター長 難波 啓一先生をお招きし、『生体超分子モーターの高効率なエネルギー変換メカニズム』をテーマとした合同セミナーを開催し、多くの方々にご参加いただきました。今後も、各グループでの活動と同時にグループ間の交流も積極的に実施して、大学内の共同研究の推進とともに、グローバルな研究成果につながる取組も積極的に推進して参りたいと思います。

また、本年4月に学内共同教育研究施設として発足したトランスレーショナルリサーチセンター (TRC) との有機的連携も進められており、新たな研究展開と社会実装等の推進を図るため、TRCに所属するURAに適宜参画いただき、研究者へのインタビュー等による研究シーズ調査の実施・分析により、新たな研究プロジェクトの立案や基礎研究で得られた成果を臨床に使える新しい医療技術・医薬品として確立する「橋渡し研究」の推進を目指しています。

今後も、学際的研究推進部会、各グループの活動状況を踏まえ、定期的に見直しや改善を行うとともに、来年4月に設置される大学院統合生命科学研究所とも連携しながら、新たな研究展開と社会実装を推進する研究活動の基盤整備を担い、学際的研究の推進、協業的研究への発展を目指していきたく考えています。



合同セミナーの様子